

D X を活用した物流支援

Keywords 巡回経路, 積み付け, 最適化, 地理情報活用

01 本研究の適用分野・用途

- 製造業の貨物輸送計画
- 宅配事業者の配送計画
- 学校・介護施設の配車計画など

02 アピールポイント

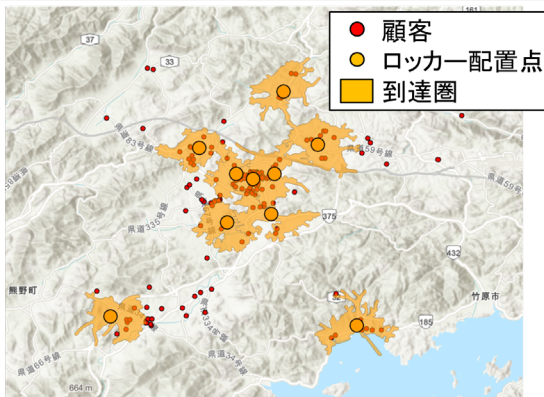
宅配需要急増にも関わらず、慢性的なドライバー不足・・・物流の効率化が急務！！

本研究では、拠点の最適配置、積み付け・巡回経路の最適化などのアルゴリズム開発により輸送効率向上の支援を行います

研究概要

研究事例

オープン型宅配ロッカーの設置場所の決定

オープン型ロッカーの
配置場所検討

誰もがアクセスしやすい

→ 自宅から近い

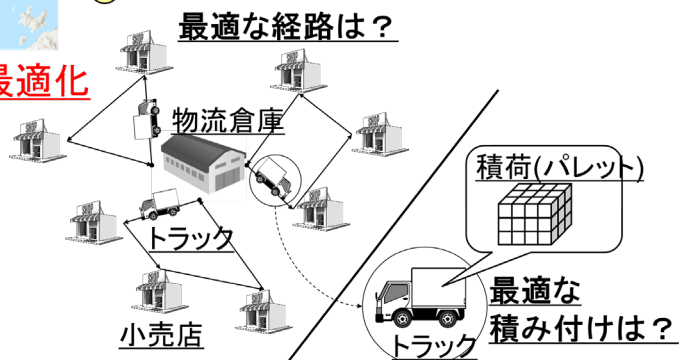
→ 広範囲かつ均等に配置

💡 クラスター分析＋到達点解析

トラック積み付けと巡回路の同時最適化

ラストワンマイル輸送の
最適化

時間と輸送効率の両立
→ 巡回輸送経路最適化
＋パレット積み付け最適化



巡回経路の最適化 ＋ パレット積み付けの最適化



KINDAI
UNIVERSITY

近畿大学工学部
(広島キャンパス)

情報学科
准教授 阪口龍彦 (さかぐちたつひこ)

